

# あつまれ 厚木の大学生

学生の視点で市のイベントを企画・運営したり、まちの魅力をPRしたりする大学生を募集します。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840



《対象》市内5大学(神奈川工科・松蔭・湘北短期・東京工芸・東京農業)の学生  
☎電話またはEメールに氏名、学校名、学年を書き、商業にぎわい課 ☎3800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。



## イベントや学生同士の交流が魅力

あつぎにぎわいアドベンチャー隊  
松蔭大学4年 下澤 祐希さん

先輩の紹介でアドベンチャー隊を知り、イベント開催に関われるのが楽しそうと思い2年生の時に加入しました。コロナの影響で活動は限られていましたが、飲食店などを応援する動画を作ったり、SNSで市内のお薦めスポットやお店を紹介したりと、コロナ禍ならではの活動もできました。商業施設と連携したハロウィンイベントでは、仮装してクイズラリーを開催しました。子どもたちがたくさん来てくれて喜ぶ顔が見られ、久しぶりにイベントの楽しさに触れられて充実感がありました。学校ではサークルや勉強など学内の活動になりがちなので、アドベンチャー隊で他大学の仲間ができたことは貴重な経験だと思います。

## どんな活動をするの?

あつぎ 元気Wave  
5/1~CATVで放送

市内5大学の学生が、まちを盛り上げるために市と協働でイベントの企画・運営などを行っています。

《昨年の活動内容》SNSを使った市内の魅力発信、市内商業施設と協力したハロウィンやクリスマスイベントの開催など



ハロウィンイベントの様子

Instagramで  
情報発信中



## 自然歳時記

● イタチ ●  
イタチ科

胴体が雄で約30%で雌20%。川や水田でまれに見掛ける。日本の固有種だが、生息環境の悪化で個体数は激減している。市レッドデータ準絶滅危惧種/玉川下流の雑草の繁茂した川べりで見つけた。写真・文 吉田文雄



向こう岸にいたイソシギが、驚いた顔で飛んで来た。見ると、何かをくわえたイタチがトコトコと走って来た。大きな獲物をじゃぶじゃぶ引っ張っていたが、石の上にジャンプした。力持ちだと感心したが、獲物を見て二度驚いた。大きなナマズだ。イタチは疲れたのか

少し休み、辺りを見回して獲物をくわえ直すと急ぎ足で駆けて行った。ナマズは市のレッドデータ絶滅危惧Ⅱ類で、数は少ない。イタチもナマズも生息環境の悪化と闘いながら生きているのだろう。鼻の周りが黒くて愛嬌のあるイタチを、初夏の光がいつまでも温かく見守っていた。

厚木市の人口  
(4月1日現在)



世帯数 10万2284世帯 (前月比471世帯増)



人口 22万3506人 (前月比104人増) 男11万5053人・女10万8453人